

パブリックコメントの意見の概要及び意見に対する考え方

- ・一関市総合計画の策定については、令和6年4月に市から一関市総合計画審議会（以下、「審議会」）に諮問をしています。
- ・一関市が目指すまちの将来像などを示す「一関市総合計画基本構想（計画期間：令和8年度から令和17年度）」（以下、「基本構想」）については、令和6年12月に審議会から市に対し答申される予定です。
- ・将来像の実現のためのより具体的な施策を示す「一関市市総合計画前期基本計画（計画期間：令和8年度から12年度）」（以下、「前期基本計画」）については、令和7年11月に審議会から市に対し答申される予定です。
- ・今回のパブリックコメントは、審議会で作成した案を市がパブリックコメントに付したものです。
- ・「ご意見に対する考え方」は、審議会で議論した内容をまとめたものです。

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	1 はじめに	<p>「人口減少による影響を少なくし」という表現が消極的に感じられる。</p> <p>人口減少をポジティブに捉えると、一人ひとりの存在価値がより高まること、また、競争よりも連携が生まれやすくなることが考えられる。</p> <p>そのようなニュアンスを含んだ、「ひとりひとりの活躍の場を広げる」、「お互いに応援しあう社会をつくる」といったような文章にしてはどうか。</p>	<p>「人口減少による影響を少なくし」という表現は、人口減少が地域社会に与える影響を少なくし、地域の活力を高めていく必要があるという考えから記載したものです。</p> <p>人口減少が進む状況においては、一人ひとりの存在により重きがおかれ、一人ひとりの存在が一関市の魅力のひとつとなっていくという考え方も重要であることから、そのような視点を基本構想に反映します。</p>
2	1 はじめに	<p>「今の「いちのせき」を変わらないよう維持していくためには、変わりつつけることが必要である」について、意味が伝わりやすいよう表現を見直してはどうか。</p>	<p>一関市を将来にわたり暮らしつづけたいまちとするためには、人口減少の現状を踏まえながら、私たちの幸せを育むというまちのあり方が変わらぬように私たちも状況の変化に合わせて変わりつつけることが必要だと考えています。</p> <p>意図が伝わるよう、修正し、基本構想に反映します。</p>
3	1 はじめに	<p>「はじめに」は、総合計画策定の背景と総合計画が一関市民にとってどういうものかの位置付けを明確にする必要がある。</p> <p>次の案を提案する。</p> <p>1 一関市総合計画の策定に当たり 今後、少子高齢化に伴い人口減少に歯止めがかからない状況が続くと予想されています 都市部と地方の格差拡大など一関市としてこの問題にどのような取り組みか、一関市総合計画に盛り込む必要があります 市民一人ひとり、生活をより良くするために各々の目標に向かって進んでいます 市民一人ひとり、活力のある一関市にするために市の目標を共有しなければなりません</p>	<p>総合計画の意味合いと内容を分かりやすく伝えるためには、市民、行政のそれぞれにおける総合計画の位置づけを明確に示す必要があるため、整理し、記載します。</p>

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
4	1 はじめに	<p>一関市が暮らす街として選ばれるため、市内在住の人と結婚して一関に新たに住む人や市内に家を建てた世帯などを対象に、結婚支援金や移住定住補助金の拡充を図ってはどうか。</p>	
5	1 はじめに	<p>「はじめに」の部分について、次の案を提案する。</p> <p>[人口減少の現状]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口は2024年現在の約1億2,000万人から2070年には総人口8,700万人に減少するものと厚生労働省では推計している ・当市の人口は減少の一途をたどり、現在の人口が約11万（2024年3月31日 住民基本台帳世帯・人口調査）から市の今後の推計において2050年にはおよそ半数となる見込みである ・人口減少は、私たちの暮らす地域や生活に影響を及ぼしている <p>[人口減少への対処]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少による影響を少なくし、地域の活力を高めていく 取り組みが求められる ・私たちが暮らし、好きだと感じる今の「いちのせき」を変わらないよう維持していくためには、変わり続けることが必要である ・生活・生計に安心して、子供を産みやすく、育てやすいまちづくりの取り組みが必要である 	<p>提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の策定を進める中で、議論を重ねます。</p> <p>また、次期一関市総合計画は、最大の課題である人口減少を踏まえて、施策を分かりやすく整理するために、「一関市人口ビジョン」を一体化する方針で策定を進めています。</p> <p>今後の人口の見込みについては、市のまちづくり施策を踏まえた推計を行い、総合計画の中に記載する予定です。</p>
6	1 はじめに	<p>イメージが伝わるよう、市の総人口や見込みを数字で記載しては。</p>	

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
7	2 一関市の将来像	<p>誰に対しても分かりやすく伝わる言葉選びが大事だと思う。 将来像として「ひとりひとりが輝けるまち 挑戦をつづけるまち いいね、いちのせき」を提案する。 いちのせきの前に「いいね」を付けることで、住んでいて「いいね」と思える、また、将来像を見て「いいね」と思える前向きな言葉を選んだ。 人口減少が進む中で、悲観的になるのではなく、市民が一丸となって「いいね」と言うことができる将来像を設定して、今後のまちづくりを考えてはどうか。</p>	<p>将来像の設定においては、市民にとって理解しやすい表現であり、かつ、前向きな表現であることが重要と捉えています。 審議会で議論を進めてきた結果、基本構想（素案）の将来像を「ひとりひとりが輝く 挑戦しつづけるまち いちのせき」とし、「輝く」「挑戦」という言葉を使用することで前向きな姿勢を表すとともに、市民一人ひとりが理解しやすく自分事として捉えることのできるような表現としております。 また、将来像を実現するためのまちづくりの考え方として、一関市に誇りや愛着を持つという視点を基本構想に追加します。</p>
8	2 一関市の将来像	<p>「一関市の将来像」は、市民が理解しやすく、イメージが共有できる表現にすることが大切である。 次の案を提案する。</p> <p>2 一関市の目指す姿 「えがおとえがお おとなから子どもに つながるまち」 市民一人ひとり、生まれ育ったまち一関市を愛おしく思っています 市民一人ひとり、両親や地域の方々に守られ成長しています 両親や地域への感謝の気持ちが、将来一関市が成長する礎になっています えがおには、地域を元気にする力があり、市民一人ひとりの心を豊かにします あらゆる世代でえがおが溢れ出るまち、これが一関市の目指す姿になります</p>	<p>総合計画は、一関市に暮らすすべての人が目指すまちづくりの方向性を定める計画です。 総合計画においては、様々な境遇の方への配慮も重要な視点であると捉えています。 審議会で議論を進めてきた結果、基本構想（素案）では、「ひとりひとりが輝く」の対象を、年齢や住んでいる地域などが異なる一人ひとりの市民すべてと想定しています。 将来像が示すものは自己実現できる一関市というまちの姿であり、毎日の生活の中にある小さな輝きや挑戦も一人ひとりの笑顔を生み、まち全体の輝きへとつながると考え、設定したものです。</p>
9	2 一関市の将来像	<p>将来像を考えるに当たり、市民の資産や収入などのデータを把握しているか。 現実を知らない、生活に余裕がある人の話に思える。日々の暮らしで精一杯の経済的に困窮している方々が、明るい明日に希望を持つことができているとは思えない。</p>	<p>総合計画は、一関市に暮らすすべての人が目指すまちづくりの方向性を定める計画です。 総合計画においては、様々な境遇の方への配慮も重要な視点であると捉えています。 審議会で議論を進めてきた結果、基本構想（素案）では、「ひとりひとりが輝く」の対象を、年齢や住んでいる地域などが異なる一人ひとりの市民すべてと想定しています。 将来像が示すものは自己実現できる一関市というまちの姿であり、毎日の生活の中にある小さな輝きや挑戦も一人ひとりの笑顔を生み、まち全体の輝きへとつながると考え、設定したものです。</p>

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
10	2 一関市の将来像	<p>次の案を提案する。</p> <p>安心して子育てができて 学ぶ環境が豊富で 起業がしやすく たくさんの働き場所あり 県の経済の中心をめざす いちのせき</p> <p>[ひとりひとりが輝く]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちの主役は市民一人ひとり ・ 年齢も住んでいる所も考え方も好きなものも異なる一人ひとり が、人生の、生活のあらゆる場面で、自らが望むように生き、生活 を営むことで、一人ひとりの笑顔が輝く ・ 私たち一人ひとりの、人生の、毎日の、大きさも種類も異なる さまざまな挑戦を、誰もが受け入れ、互いに認め合うことで、笑 顔につながり、まちが輝く ・ 私たちはこれまで、郷土の宝をひとつずつ見つけ、一関市の魅 力として育み、輝かせてきた。この一関市の魅力を次の世代に変 わらないまま伝えていくために、未来に向かって挑戦して、変 わりつつける ・ 好きなひとやもののため、そして自分のため、挑戦する人がい るまちでは、輝きと笑顔と愛が連鎖し、循環する ・ 市民一人ひとりがさまざまな学びつつける 	<p>提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の 策定を進める中で、議論を重ねます。</p>
11	2 一関市の将来像	<p>「私たち一人ひとりの、人生の、毎日の、大きさも種類も異 なるさまざまな挑戦を、」の意味が伝わりにくいため、表現を見直 しては。</p>	<p>基本構想（素案）で掲げる将来像は、人生における大きな輝きや 挑戦だけではなく、毎日の生活の中にある小さな輝きや挑戦も一人 ひとりの笑顔を生み、まち全体の輝きにつながると考え、このよう な表現としました。</p>
12	3 将来像を実現するた めの基本目標	<p>「将来像を実現するための基本目標」については、一関市民が とるべき行動として、市民が向かう方向と具体的にどんなことを するか、自分事としてとるべき行動がわかる必要がある。</p> <p>次の案を提案する。</p> <p>3 一関市民がとるべき行動 目指す姿に向けて、市民一人ひとりの行動の指針は下記の6点 になります</p> <ol style="list-style-type: none"> ① まちづくりの主役は市民一人ひとり、全ての市民が参画する まち ② 市民の総力を上げ、まちの魅力が進化しているまち ③ 時代の変化を先取りし、新たな価値を創造するまち ④ 安全・安心で住み続けられるまち ⑤ 地域のこどもが将来のまちを創造するまち ⑥ オープンで開かれた市政・議会となるまち 	<p>総合計画は、市民にとっての活動の指針となるとともに、行政運 営の指針ともなるものです。</p> <p>基本目標の設定にあっては、市民に具体的な目標や役割が伝わる ことが重要であることから、より分かりやすい表現となるよう検討 します。</p>

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
13	3 将来像を実現するための基本目標 (1) 基本目標①	「いきることは一人ひとり異なり、」について、「こと」よりも「意味」の方が伝わる。	基本構想（素案）では、「いきる」という言葉を「一人ひとりになりたい自分を見つけ輝いている様子」の表現として使用しています。 「いきることは一人ひとり異なり」とすることで、「一人ひとりを目指すものは異なる」ことを伝えたいと考えています。 意図が伝わるよう、表現方法を検討します。
14	3 将来像を実現するための基本目標 (1) 基本目標②	「まちには、ひとと人、モノ、世界、過去、未来との、つながりが生まれる」について、ひと／人の表記について、意味は一緒か。 全体的にみんなが読みやすい表記だと伝わりやすいのでは。	基本構想（素案）では、「ひと」という言葉を「私」「自分自身」という意味合いを含む、より主体的な表現として使用し、「人、モノ、世界、過去、未来」は「私」「自分自身」とつながる対象物を表しています。 この意図が伝わるよう、表現方法を検討します。
15	3 将来像を実現するための基本目標 (1) 基本目標②	昔は一関駅前に商業施設がありワクワクした楽しい思い出がたくさんあるが、今は一関中心部にはほとんど行かなくなった。 休日は仙台に買い物、コンサート、スポーツ観戦に行く人がとても多く、仙台商圏に一関市民が流出しているように感じる。 私は子育て世代であるが、衣食住の揃っている商業施設で買い物をしたり、商品を見たりしていると、気分転換になり活力増につながる。 一関市では体感できないため、宮城県に行くこともある。 地域活性化のため、民間企業と地域活性化の協定を結び、店舗の誘致などを行うことで、若者が定住して子育てができる一関市にしてほしい。	
16	3 将来像を実現するための基本目標 (1) 基本目標③	若者が減少していることへの対策として、専門学校や大学等の誘致が必要なのではないか。	提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の策定を進める中で、議論を重ねます。
17	3 将来像を実現するための基本目標 (1) 基本目標③	就職氷河期時代を生きた私にとって、仕事選びはとても難しかった。大学で勉強したことを活かせる仕事が地元になく、いくら待ってもそのような求人はなかった。 他の仕事を目指して勉強を始めても、就職までは結び付かず、色々な分野に取り組むことになってしまった。今は放課後児童クラブの支援員をしているが、この仕事の給与では生活ができない。 魅力的な仕事を増やし、求職者がどのような方向で努力したらよいか、さまざまな視点から導いてほしい。	

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
18	3 将来像を実現するための基本目標 (2) 人口減少への対処	<p>素案では、「ひと」「まち」「しごと」の循環構造を市民と行政の視点によりストーリーづけているが、人口が減れば職場・企業が減り、市の収入が減り、描いている循環構造は成立しなくなり、県や国に補助金を求めるといった図式になる。</p> <p>首都圏・他市への人口流出を抑えるとともに、市外からの移住など人口流入策、こどもを生みやすい行政施策、こどもの減少で閉校した校舎の新たな展開、市民が起業しやすい行政施策、大手企業の本社機能の一関への移転を促す施策、衰退した一関商店街や大船渡線沿線駅の旧商店街のオフィス街化を、「一関市総合計画基本構想」で具体的・明確に宣言してほしい。</p> <p>一関市の将来を維持・拡大する取り組みの本気さを、市内・市外へ明言し、実行してはどうか。</p>	<p>提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の策定を進める中で、議論を重ねます。</p>
19	3 将来像を実現するための基本目標 (2) 人口減少への対処	<p>安心してこどもを産み、育てる環境がないと、人口減少は止まらない。地域にこどもが増えていくことで、「ひと」「まち」「しごと」の循環の連鎖が続くことにもつながってくるのでは。この地域で子育てする魅力づくりも必要。</p>	
20	4 将来像を実現するための進め方と役割 (1) 協働のまちづくり	<p>「まちづくりは市民と行政の協働により」とあるが、「市民と地域と行政の協働により」と「地域」も入れたほうがよいと思う。</p> <p>「ひとづくり」は「つながりづくり」であり市民と行政の間のつながりがないと協働は生まれないと考える。</p> <p>地域協働体の役割は何なのか明記してほしい。</p>	<p>「協働のまちづくり」の内容は、地域協働体などと意見を交わし策定した「一関市協働推進計画」の考え方を取り入れたものであり、地域協働体の取組や今後の役割などを踏まえ、表現を検討します。</p>
21	4 将来像を実現するための進め方と役割 (2) 健全な行財政運営	<p>「行政は、市民の視点に立った透明性の高い行政運営」とあるが「行政は、市民と一緒に考え、わかりやすい行政運営」としたほうがよいと思う。</p> <p>「市民の視点に」という表現は上から目線に感じる。</p> <p>協働を掲げるのならば、一緒に考え悩んでいく姿勢を見せてほしい。</p> <p>透明性とは何なのか分かりにくいので、市民に分かりやすい説明や仕組みにしてほしい。</p>	<p>行政運営においては協働のまちづくりが前提にあると考えることから、分かりやすい表現に修正し、基本構想に反映します。</p>

番号	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
22	4 将来像を実現するための進め方と役割	<p>市の令和5年度決算を確認したが、自主財源の割合が35.7%というのは、今後、人口減少が予測されている中で、すでに厳しい数字だと思う。</p> <p>例として、宿泊税の導入やみやぎ発展税のような一定規模の企業に対し法人税にプラスして課税することや、TGCなどのイベントに対する自治体として負担金の見直し（減額）などを提案する。</p>	<p>提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の策定を進める中で、議論を重ねます。</p>
23		<p>結婚相手の選び方に悩んだ。</p> <p>就職がうまくいかなかったため、結婚相手探しも大きく出遅れた。出遅れてしまったが、結婚相手は慎重に選びたいと思っており、相手の個性を知ることができる方法はないかと考えている。</p>	<p>提案いただいた具体的な施策については、今後、前期基本計画の策定を進める中で、議論を重ねます。</p>